

## エンドウ生育初期は寒冷紗でムシを防ぐ

### [研究のねらい]

8～9月に播種する作型のエンドウでは、生育初期がシロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、オオタバコガなど鱗翅目害虫の発生ピーク時期と重なるため、それらの幼虫による被害が甚大です。そこで、ネット資材を利用した被害防止技術を確立します。

### [研究の成果]

①8月播種のエンドウでは、鱗翅目幼虫による8月下旬～9月中旬の被害株率は平均24%（ネット無被覆圃場）でした。寒冷紗（目合い約1mm）を被覆すると無被覆圃場の1/24、防風ネット（目合い約4mm）を被覆すると無被覆圃場の2/3程度に抑えることができました（図1）。

### [成果の活用面・留意点]

- ①ウイルス病や鳥害・風害対策を兼ねることができます。
- ②播種（定植）後すぐに寒冷紗でトンネルがけし、裾を土や石できっちり押さえます。
- ③被覆期間は、作物の生育に影響を及ぼさない期間（30～40日間）です。
- ④ハスモンヨトウはネット上に産卵するので、ふ化幼虫がトンネル内に侵入することがあります。



写真1 寒冷紗によるトンネルがけ



写真2 防風ネットの被覆



写真3 シロイチモジヨトウによる被害

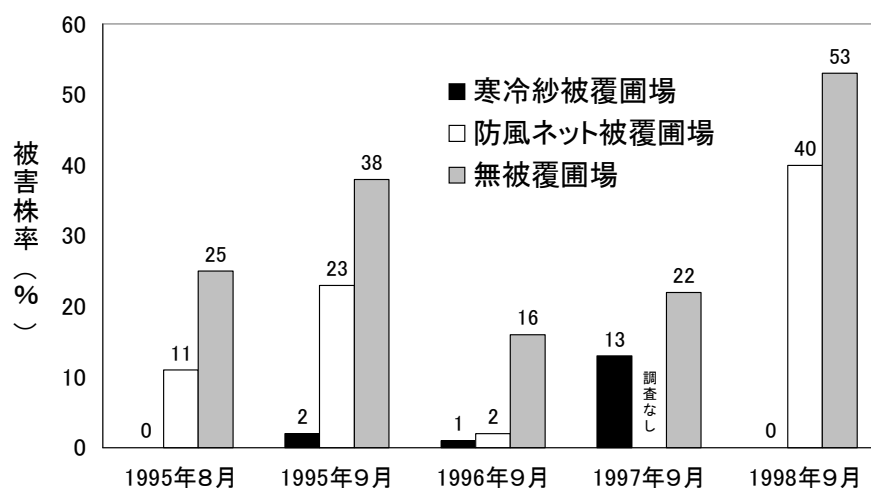


図1 エンドウにおける寒冷紗被覆による鱗翅目幼虫の被害抑制効果(印南町)

実施年度：昭和62～平成10年

担当者：東 勝千代、矢野貞彦、森下正彦、井口雅裕